NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞を学習に生かす

2．学校名

北海道札幌市立平岡公園小学校

3．実践者名（代表者名）

今井　一紀

4．学年

第5学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

理科

6．単元（本時の学習課題）名

「気温の変化･天気の変化」

7．目標（狙い）

天気図を継続的に観察する活動を通して、天気の変化の規則性に気付く

8．評価の視点

天気図から天気の変化の規則性を読み取ることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「気温の変化･天気の変化」 (7時間)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)1時間ごとの気温を測定し、気温の変化と天気の関係を調べる　(2時間)
(2)1週間分の天気図を集めて、天気の変化の規則性をつかむ　(3時間)
(3)学習したことをもとにして、天気図から翌日の天気を予想する　(2時間)

(留意点)
･気温の変化をグラフに表し、天気と気温の変化を関係づけさせる。
･天気図の低気圧、高気圧や衛星写真の雲の動きに着目させ、天気は大まかに西から東へ変化することをつかませる。
･学習した天気の変化の規則性から、根拠をもった予想をさせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞の天気図を継続してノートに張ることで、天気が西から東に変化していくことを容易にとらえることができた。

12．成果と課題

単元が終わってからも、天気の変化に興味を持ち、遠足などの行事の前には新聞の天気図を見て、天気を予想しようとする子が増えた。また、日ごろ新聞に目を通すことがなかった子どもたちが、天気図をきっかけとして、他の様々な記事にも興味を持つようになった。今後、社会科の学習でも、子どもたちの学習資料として新聞記事を活用していきたい。